



COURT MAIL

No. 60

発行 神奈川県女子テニス連盟 (J L T F 神奈川県支部) 広報委員会

責任者 [redacted] 影井 雅子

事務局 [redacted] 村上富紗子

第22回朝日レディーステニス全国決勝大会

神奈川県代表チーム 優勝 おめでとう!!

20世紀最後を飾って6度目の優勝

11月15日～17日

朝日生命久我山スポーツセンター

20世紀最後を飾って、神奈川県代表チームは朝日レディース全国決勝大会において、二年連続の優勝に輝きました。六度目の優勝は、優勝回数で並んでいた東京を抜いて最多記録となりました。

代表チームは県大会のあと、昨年に続いて間宮茂子さん(湘南ハンドレッド)の指導のもと、週に二回の練習を重ねてきました。毎回ひとりとして欠けることなく6人が揃い、キャプテン田中さんを中心にすばらしいチームワークで臨み、二連覇を成し遂げました。

初日

対兵庫戦から対石川戦とNo.3の高橋・柴崎組 No.2の氏家・土屋組が早々とストレートで勝ち理想的な形で団体戦が始まりました。

2日目

悪天候の心配から、対京都戦は8ゲームプロセットとなりましたが、No.1の田中・鈴木組が3-6から感動の逆転勝ちをしました。佐賀にも快勝、選手の頭の中には「もしかしたら…優勝」の二文字が浮かんできて…(中尾会長にも)

最終日

準決勝の対広島戦、No.3の粘り勝ちが大きくチームに勢いをつけました。そして東京と決勝ここでも二つの大きな逆転勝ちがありました。No.3、第2セット東京の追い上げでタイブレーク4-6から4点連取先勝。No.2も第1セット3-5から相手のペースを崩して逆転勝ち、第2セットも流れに乗ってNo.1の結果を待たずに優勝が決まりました。

涙・涙・涙!!

優勝が決まって戻った選手達は間宮さんと抱き合って涙・涙。ほっぺをつねり合ったり、厳しかった間宮さんの目にもな・み・だが…。



土屋・氏家・鈴木・間宮・田中・柴崎・高橋・中尾

ゴールドフィンガー

ドロウ抽選に「右手で引こうかしら、それとも左手で?」と悩んでいた田中さん。初戦に兵庫と決まった時には落ち込んでいました。しかし、勝ち進むうちに「私の指はゴールドフィンガー!」と右手をひらひらとさせていました。

ベンチコーチ

ベンチに入り一生懸命アドバイスをしていたら試合をしている選手に「今日はどうしたの、ずいぶん頑張ってる」と言われてしまったおっとり屋の柴崎さん。最終日に初めてベンチコーチをする事が出来ました。

第22回ブロック別シングルストーナメント

Aブロック 10月3日～5日

一般の部 111名 等々力庭球場

田中美知子 (市ヶ尾)	—		
中村由利子 (東急 嶮山)	—	6 4	谷川
		6 1	
桑田ゆかり (あざみ野)	—		7 6
谷川 洋子 (東急有馬)	—		7 5
		4 6	
		6 4	
		6 2	

50才以上の部 11名

板谷 貴子 (N A 城 郷)	—		板谷
中野 恵子 (N A 城 郷)	—	3 6	
		6 4	
		7 5	



板谷・谷川・中村

* 思いがけず優勝できて本当に幸せです。練習にお付き合い頂いた皆さんに感謝。(谷川)

* 卒業できて本当に嬉しいです。練習して下さった方々に感謝しています。(中村)

* 3時間におよぶ試合で自分を励まし、自分がどこまで頑張れぬことが出来るかの挑戦でした。(板谷)

Bブロック 10月4日～6日

一般の部 63名 南郷上の山

鈴木 勝江 (葉山T・C)	—		
金井 紀子 (サンブリッジT・C)	—	6 0	松田
		3 6	
松田美根子 (磯子エレガンス)	—		7 5
		6 4	6 4
高橋 弥生 (ルーネス)	—	3 6	
		6 4	
		6 0	

50才以上の部 9名

谷 寿子 (サンブリッジT・C)	—		館岡
館岡喜久子 (上郷グリーンヒル)	—	6 2	
		2 2	RET



金井・松田

*途中でガットが切れましたが運が良く、決勝はとても楽しくできました。(松田)

*SFの時プレッシャーがありました



館岡

い〜のひとことに尽きます。(金井)

*ねばり強くボールを一生懸命打っていたら勝つことが出来ました。(館岡)

Cブロック 10月3日～6日

一般の部 113名 桃浜・田村・厚木国際

森 秀子 (荏原SSC)	—		
鳥谷部 薫 (湘南ファミリー)	—	6 1	畑
		6 3	
牧野 淳子 (カトレア)	—		6 0
			6 0
畑 由香 (アミティ)	—	6 3	
		6 3	

50才以上の部 12名

水嶋チヨ子 (大磯ローン)	—		長尾
長尾 文子 (荏原SSC)	—	6 4	
		6 2	



長尾・畑・森

*最終日は特に緊張しましたが、はじめてのシングルスで優勝出来大変嬉しいです。(畑)

*応援して下さいました。でも本当に疲れました。(森)

*楽な試合はありませんでした。若い人達のパワーを見習いこれから練習を積みたいと思います。(長尾)

Dブロック 9月19日～21日

一般の部 68名 相模原グリーン

坂井由美子 (中央林間)	—		
田口 智子 (横浜スポーツマン)	—	6 0	坂井
		6 2	
屋敷 純子 (横浜スポーツマン)	—		6 2
			6 4
一志智恵子 (横浜スポーツマン)	—	7 6 (6)	
		6 1	

50才以上の部 10名

長田 邦 (亀の甲山)	—		野田
野田みね子 (横浜スポーツマン)	—	6 2	
		6 4	



屋敷・坂井・野田

*1シードと思わずに全部チャレンジのつもりでがんばったのが良かった。(坂井)

*シングルの練習ができる環境に恵まれて、いろいろ教えて頂いたおかげです。(屋敷)

*なが〜い女子連やっとな卒業できました。私には我慢し続けたことが勝因です。(野田)

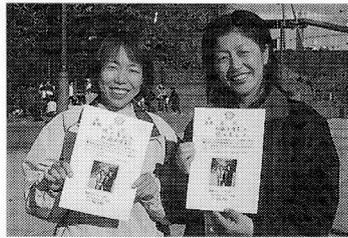
第33回神奈川県女子テニス連盟 ダブルストーナメント

11月28日～30日
三ツ沢公園テニスコート

師走間近のコートには落ち葉が舞っていましたが、三日間良いお天気に恵まれました。今年から年齢別が設けられ、幅広い会員の人が参加できる大会となりました。決勝戦はどのクラスも白熱した試合でしたが一般では全員が花の30代、行き交うボールのスピードに、応援している人達からため息が出ていました。他の大会と重なり参加者が少なかったのですが、それにも増してレベルの高い大会でした。

一般の部

加藤・橋口 (エスタ・荏原SSC)				
岸宗・待鳥 (エスタ・京浜)	6 4			
平尾・太田 (レニックス・YITC)	6 3			
渡辺・吉崎 (テニスプラザ塚・サントリー)	3 6	6 3		
高橋・柴崎 (横浜テニスカレッジ)	6 1	6 1		
土屋・橋本 (エスタ・夢見ヶ崎ローン)	6 2	7 5		
高橋・相田 (夢見ヶ崎ローン・ケンウッド)	6 4	7 6 (5)		
橋本・高橋 (荏原SSC・TTC)	6 4	6 3		
	6 3	6 2		
	6 3	6 3		



橋口・加藤

* 知り尽くした相手なので打つコースに先に体が動いていた。何回かダブルスを組んでお互いの動きがわかってきて、迷いなく安心して試合ができました。(加藤・橋口)



竹内・間宮

* ダブルスはシングルスと違い、リターンにしても緊張感が大きく、一人が頑張り過ぎてはいけない。アドバイスは簡単ですが実行の難しさを実感しました。(間宮・竹内)

50才以上の部

間宮・竹内 (湘南ハンドレッド・湘南ローン)				
昼間・久宗 (上郷グリーンヒル・寒川ローン)	6 4			
大関・石田 (横須賀ダイヤモンド・鎌倉ローン)	7 6 (6)			
石沢・竹内 (夢見ヶ崎ローン・サントリー)	6 4	7 5		
	5 7	6 4		
	6 3	6 3		



石井・藤原

* 年齢別ができ同年代の方達と同じ土俵で戦える事が嬉しい。あまり練習もしないで遠い所から頑張っで参加しました。七年ぶりに組んで優勝できました。(石井・藤原)

55才以上の部

山本・白井 (宮崎台・和泉)				
小山・山本 (上郷グリーンヒル)	4 6			
石井・藤原 (足柄ローン・個人)	6 4			
三井・川島 (サントリー)	6 2	6 3		
	6 3	6 3		
	4 6	6 3		
	6 3	6 0		

ひまわりテニス大会

Aブロック (第8回) 10月19日 爽やかな秋晴れの中、フレッシュな選手達が試合を行い「初めて優勝
横浜ガーデン 80組 できました」と喜びいっぱいのペア、「負けたけど楽しかったね。又頑張ろうね」といつもの試合会場の雰囲気とは一味違った大会でした。横浜ガーデンのオーナー坂田さんには、総会、親睦会でもお世話になり、御礼申し上げます。(ブロック長菊池久美子)

Cブロック (第7回) 10月25日 桃浜庭球場・鶴沼八部運動公園・秦野中央運動公園 160組
朝、雨が降り出し心配された空模様でしたが、昨年同様三会場において、1ブロック4組のリーグ戦を行いました。毎年初心者の方々が楽しみにしている大会で、会員以外の選手の中にも、レベルの高い方がたくさん参加されていました。これを機会に女子連でも活躍をと願っています。(ブロック長石黒博子)

Dブロック (第8回) 10月3・10日 相模原グリーン 104組
10月31日 横浜スポーツマンクラブ 132組

昨年より32組多い236組の選手の方々が腕前を發揮されました。今回はスコア表に感想欄をもうけ参考意見をいただきました。また地区の指導者の皆さまに大変お世話になり感謝感謝です。賞品も1位から4位までであるので「来年は…」と闘志を燃やす姿も!! (競技委員長須崎尚美)

第10回 すみれ会チームトーナメント

10月10日 (258名)

横浜スポーツマンクラブ

前日の雨がうそのような秋晴れの中、皆さんが参加を楽しみにしているこの大会も、第10回を迎えて記念大会が行われました。今年はビオラ (100歳以上・105歳以上・110歳以上) パンジー (110歳以上・115歳以上・120歳以上) に分かれて開催され、色々な賞品が当たる抽選会もありました。各チームとも工夫をこらしたユニフォームに身をつつみ、駆けつけた仲間のにぎやかな応援もあって、真剣なプレーの中にも和気あいあいとした雰囲気でした。ご協力して下さいました皆様ありがとうございました。(船橋静子)



お世話になった大塚さんに花束
ビオラ優勝

ビオラチーム

あ!ちゅうまの50年	}	インター レット	2-1
マリブル			
インターレット	}	ハイビスカス	2-0
ハイビスカス			

コンソレ優勝 チーム城郷

パンジーチーム

シロのウーナスH	}	りんどう	3-0
りんどう			
花あらし	}	コスモス	2-0
コスモス			

コンソレ優勝 トワ・エ・モア



インターレット

10年参加し続けて10年目の正直
チームワークのお陰です。



マリブル

寄り集まりのチームで初めての
参加、良い結果におおよろこび。



りんどう

空いている人で合わせもせず、に
わかペアーで頑張りました。

第5回 すみれ会他県訪問親睦旅行

香川県の巻 (40名)

10月24日~26日

まだ夜も明けきらぬ頃、私達は少し心わくわくさせながら、それぞれの家を出発。徳島に向かう飛行機からは、富士山がすそ野までくっきり眺められる程の快晴。徳島ではガラス張りの上から45メートル下の渦潮を恐々眺め、浸食されて出来た千態万様の岩々を両脇に小船で下り(大歩危峡)平家の落人が身を守る為作ったという、丸太を葛のツルだけでつないだつり橋を渡り(祖谷のかずら橋)初日、徳島での観光を終え高松に到着。二日目、四国女子連の方々と親睦テニスは、全員の心がけの賜物でしょうか、朝のうちの雨も快晴に変わり、室内コートから屋外コートに移りひとり3ゲーム消化。緑の木々や美しい花に囲まれての懇親会も、あっという間のひと時でしたがとても和やかでした。高松から松山の道後で一日の疲れを温泉でいやし、ほんのり幸せ気分を味わいました。最終日は瀬戸内海の美しい島々を眺めながら、大山祇神社・耕山寺・平山都夫美術館を見学して、しまなみ海道・瀬戸大橋を渡り、ぐるっと瀬戸内海一周の一日となりました。全員無事楽しかった三日間、最後高松空港でのおどんの味が今とても懐かしく思い出されます。お疲れ様でした。(黒山元恵)



*屋島テニスクラブ

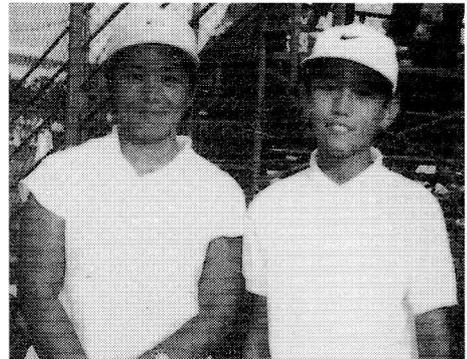
興味のある方はどうぞ!

ふ れ あ い

思い出の夏

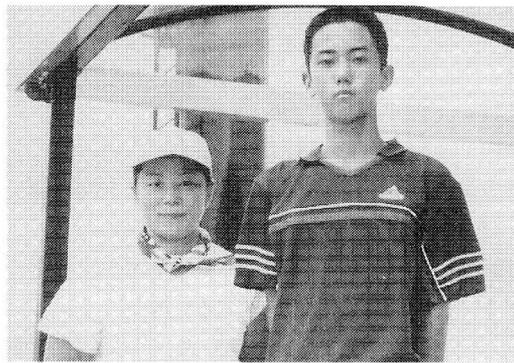
辻 康代 (京浜クラブ)

女子連に加盟して初めて「母と子のテニストーナメント」を知り、我が子が小学校五年生の時から今年の中学三年生までの五年間参加しました。「母と子…」は我が家の夏の恒例行事になっていました。初めて参加した夏、プレーは全て私の方が上(?)でした。けれども、我が子明裕は「ミスするなよ!!」と文句をつけてきました。そんな時コートの向こう側でも、やはり親子で話し合いをしていました。それを見て「やっぱり僕達は仲良くやろう」と言ったのです。お互いのミスをカバーしながら試合が出来て、とても楽しかったことを思い出します。本部の方から「とてもほほえましい光景でした」と言っていたことが忘れられません。



初めての夏

六年生の夏、なんとか決勝まで進むことが出来ました。対戦相手のお母さんはとても上手な方で、明裕とシングルの試合をしている感じで、私はコートの端の方におじゃましているようでした。けれどもポイントの時には、しっかり私の方に決められ、我が子に「自分のラケットの届くところだけはしっかり守ってよ。あとは任せていいから」と言われ、頼もしい我が子だと思いました。



最後の夏

中学一年の夏は、決勝の相手が二年生で、結局負けてしまいましたがその時も「ミスは気にしない。ひくな!!」と言って励ましてくれました。中学二年、そして今年「母と子の…」最後の夏は、ふたりとも上出来で、二年連続して優勝することができました。

子供と一緒にコートに立って、テニスを通して我が子の成長が見られたこの大会は、私の宝物です。最後になりましたが、毎年、朝早くから夕方遅くまで大会を運営して下さいました役員の方々に、心より感謝しております。良い思い出をありがとうございました。

'00 母と子のテニストーナメント

8月17日

小田原テニスガーデン

のどかな田園風景の中にある小田原テニスガーデンで、母と子のテニス大会が行われました。少し遠いということで参加者が少なかったのですが、広々とした会場には、家族そろって応援をする姿が見られました。ゲームではいつもと逆に、お母さんがお子さんに叱られたり、ポイントが決まると駆け寄って手をあわせたりする、楽しい光景も見ることが出来ました。そして、お父さんも加わって「ちびっこテニス」賞品いっぱい「抽選会」と、暑い夏の一日、母と子のきずなが深まった一日でもありました。「ふれあい」の辻さんのように、来年はぜひ参加して、お子さんとの思い出を作ってみませんか？

小学生低学年の部 8組

決勝トーナメント

成田一平・荻山純子 (ブラックス)	}	島川
島川京子・英子 (厚木国際)		6 4

小学生高学年の部 8組

決勝トーナメント

森 一真・映子 (笠間)	}	森
深田翔平・片山歌子 (高麗山)		6 0

中学生男子の部 6組 (リーグ戦)

優勝 辻 明裕・康代 (京浜クラブ)

準優勝 安部公輔・伊藤芳子 (湘南桂台T・C)

中学生女子の部 12組

決勝トーナメント

神戸麻衣子・早苗 (プロフェッショナルT・S)	}	小澤
小澤彩香・真理 (足柄ローンT・C)		6 0
東瀬枝里子・和田乃里子 (グリッド)	}	6 4

第11回 ブロック対抗親睦戦

Dブロック二度目の優勝 (初優勝は第9回)

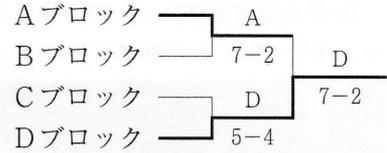
12月4日
横浜国際プール

*各ブロック桑名杯2組・50歳以上2組・55歳以上1組・一般4組の9組外は木枯らしの吹く師走、横浜国際プールの室内コートにおいて12月恒例の今年最後の行事、ブロック対抗戦が行われました。

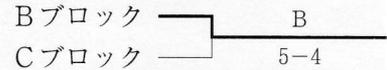
対戦チームを決める各ブロック長のジャンケンから賑やかに始まり、観客席は赤・黄・緑にピンクとあざやかなブロックカラーも並んで、ブロックの名誉と意地をかけて戦われました。各ブロックの役員の方達が本部と連携して運営に、応援に頑張っていました。

昨年優勝のAブロック今年も決勝に進出し、二連覇成るかと思われましたが、阻止したのは昨年最下位から脱出のDブロックでした。

組み合わせ



三位決定戦



準優勝 Aブロック

*初戦は圧勝して二連覇成るか期待したが、打倒Aブロックといわれてプレッシャーがあった。この対抗戦もみんなが楽しみにして応援もコスチュームもめだって良かった。

(Aブロック長)

*練習会の時から今年は優勝出来そうな予感がありました。実現してとってもうれしいです。30人のチームワークの賜物だと思っています。ありがとうございました。

(Dブロック長)



*初戦Dに接戦で負けたのが残念！あそこで勝っていたら優勝だったかも？今回はそれぞれに惜しい試合ばかりで残念無念！でもみんな頑張りました。

(Cブロック長)



優勝 Dブロック



3位 Bブロック

*組み合わせで又Aと対戦不運！でもチームワークと応援と新しいフリースで最後は競り勝って3位来年は優勝目指しそしてジャンケンも頑張ります。

(Bブロック競技委員長)



4位 Cブロック

第2回 関東八都県シニア親睦 すずかけ大会

監督・白井涼子 12月7日・8日 千葉 アポロコーストテニスコート

選手・50～54歳 岩里・境 55歳～59歳 白井・鈴木 60歳以上 田淵・遠藤

今年は千葉県の白子海岸近くのアポロコーストテニスコートに八都県の代表が集まり、晴天とはいえ師走の冷たい風が吹く中で元気に白球を追いかけました。まずリーグ分けの抽選では埼玉と対戦、3-0で快勝しAグループへ。Aグループは神奈川、東京、千葉、山梨の4県、そしてリーグ戦を行った結果、武石杯優勝者を揃えた神奈川チームが全勝して、昨年に続き優勝致しました。来年は会場を神奈川に移して行われます。(白井)

	神奈川	千葉	東京	山梨	勝敗	順位
神奈川	—	3-0	3-0	3-0	3-0	1
千葉	0-3	—	3-0	1-2	1-2	3
東京	0-3	0-3	—	1-2	0-3	4
山梨	0-3	2-1	2-1	—	2-1	2

第9回 ヨコハマハンディテニス大会

11月25日
三ツ沢公園コート

- *ワンバウンドルールクラス A・B (聴力障害・内疾患) 選手 103名
- *ツーバウンドルールクラス 車椅子A・車椅子B (車椅子使用の下肢障害者) ボランティア 164名
- *ツーバウンドルールクラス 立位A・立位B (上・下肢障害その他の方) 総勢 267名

師走が近づいているとは思えないような、暖かいおだやかな一日でした。試合は6クラスに分かれて、ボランティアの方、知り合いの方、お父さん、お母さん、奥さん、兄妹の方と組んでゲームを楽しめました。



当日ボランティアのパートナーと初めて顔を合わせた人も、試合を重ねていくごとに息がピッタリのプレーも見られ、大汗をかきながらの皆さんの笑顔がとってもさわやかでした。

*今年も市内の二つの高校からボールパーソンとして50名参加、若い力を発揮していました。

*ボランティアの人はサービスライン



内ではボレーが出来ないクラスもあり、あわてている姿がありました。

*三ツ沢公園コート内、車椅子用のトイレが新設され、段差のあった所にスロープが出来て、障害者にちょっぴりやさしい会場になりました。

ボランティア委員会

練習会の手伝い

年間310名

車椅子使用の障害者

毎週1回(水曜日)

相模原市けやき体育館

毎回4~5名 年間160名

その他の障害者

月1回(日曜日)

和泉中央テニスガーデン

毎回4~6名

月1回(日曜日)

金沢高校テニスコート

毎回4~7名

月1回(土又は日)

本牧市民公園

毎回2~3名

} 市内3会場
年間150名

あらゆる種類の心身障害者を対象にテニスの指導

障害者テニス大会に協力

横浜市ハンディキャップテニス大会

3月

本牧市民公園

28名

日本車椅子テニス競技大会

8月

厚木市宮南毛利テニス場

4日間延べ41名

ふれあいテニス大会

11月

相模原市淵野辺公園

41名

ヨコハマ・ハンディ・テニス大会を主催

ヨコハマ・ハンディ・テニス大会

11月

三ツ沢公園テニスコート

267名(企業・高校生他含)

同主催の障害者のテニスクラブ「ハンディテニスヨコハマ」の会員約40名います。

ボランティア委員登録人数 111名(内20名ほどの方は女子連会員外で男性委員も)

登録されますと3ヶ月毎にスケジュール表が届きます。自分の都合の良い日を示し、お手伝い出来る日時が決まります。

委員長 牛村智恵子

Aブロック 佐藤 晴恵

堀口恵美子

Bブロック 谷 貴美子

Cブロック 片岡枝美子

Dブロック 堀 由美

先のヨコハマ・ハンディ・テニス大会でも運営、試合のパートナー、クリニック、手話通訳にとボランティアの皆さんが、大忙しで活躍していました。すこしならお手伝い出来るかな...と思っていらっしゃる会員の皆さん各ブロックのボランティア委員まで。

編集後記

あつという間に見習い期間が過ぎて、60号から担当することになりました。不慣れなパソコンに向かい四苦八苦、やさしい先輩の影井さんに助けていただきながら、ここまで来れました。皆様のご協力どうぞよろしく申し上げます。(長島 廣子)

募金報告

- 難民救済募金 141,565円
- AL T募金 75,443円